

該当箇所	意見内容等	事務局の考え方	修正案
P3 計画の構成	配色が構成図のグラフと違っているが、同一にした方が良いのではないか。 三角図の項目名（基本構想・実施計画）逆に感じた。	ご指摘のとおり、構成図と期間を示す図形の配色が基本構想と実施計画で反転しているので修正します。 なお、現時点では青の濃淡で表現していますが、デザイン校正の段階で全体の配色と併せてカラーリングを検討します。	※配色の変更
P3 計画の構成	10 年間見直さないのですか？	基本構想の趣旨は、村政運営の基礎となる指針ですので、村政運営の方向性を大きく変える必要が生じない限り、見直しは行いません。 なお、基本構想の期間設定については、過去には村では 10～20 年間で設定し、近隣市町も概ね 10 年ほどで設定しています。	修正なし
P3 計画の構成	見直しのためには、評価の指標が必要だと思います。細かい施策については、前回の会議で、達成度など見せていただきましたが、基本計画や、基本構想についても、評価できるものであるべきだと思いますが、どのように評価していくのか教えてください	ご指摘のとおり、見直しには評価指標が必要となりますが、基本構想の趣旨は、村政運営の基礎となる指針であり、原則として 10 年間は見直しをしないことから、基本構想では評価指標を設定する考えはありません。 一方、より具体的な施策を示す基本計画においては、現行計画と同様に具体的な数値目標を定め、その達成度により評価を行うことを想定しています。	修正なし
P18 求められる村づくり 担い手の育成	青龍祭やなど… やは不要ではないか。	ご指摘のとおり、誤植ですので修正します。	<u>青龍祭などの</u> 村行事は根強い人気がありますが…
P21 将来像	村人が、村を…という指向性だけでなく、村民が幸せになれるという文言が欲しいと思います。 住民目線の、指向性のある言葉を入れる。 日本一心豊かに暮らせる「幸福な村」とか・・・大風呂敷かな（幸福って何？話し合う必要があるとは思いますが。どうやったら村を愛してもらえるか？ではなく、幸せな暮らしが送れる村ならば、村民に愛されるのではないのでしょうか。そんな村づくりをします！と宣言したほうが、漠然とした「心のふるさと」より、当然必要な評価の指標を	ご認識のとおり、「ふるさと」とは、遠くで思い出すものというイメージです。 令和 3 年度に実施した基礎調査では、進学・就職に伴い村外へ転出した方々が、戻ってこないという点が人口流出の要因の一つであるとの結果が出ています。 中学校卒業以降の進路が基本的に村外を向いている本村にとって、これら進学・就職に伴う一時的な流出は避けられないものの、最終的に帰ってくることができる（帰って来なくなる）ような地域づくりを目指	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

	<p>出しやすいと思います。)心のふるさとは、遠くで思い出すもの……というイメージではありませんか？</p> <p>一見して、行ってみたい、住んでみたいと思わせるような、ほかの市域と差別化を図れるような将来像が描けるといいのですが。(他の町村では、人と自然が輝くまちとか、笑顔が輝くまちとか、いろいろですね)。表現は抽象的ですが、人が中心になっているところが多くないですか？</p>	<p>す必要があると考えています。</p> <p>そのため、あえて遠方から想起するニュアンスの「ふるさと」を採用し、誰もが愛着を持てる村を目指すものとして、地域特性を反映し、他市町の総合計画で掲げる将来像と比較しても差別化を図っています。</p> <p>なお、現在、基本計画（素案）の取りまとめを進めており、その中で中間目標の設定を検討しております。委員がお考えの視点をふまえ、検討してまいりたいと考えております。</p>	
P21 将来像	<p>水と緑あふれる心のふるさと</p> <p>にテーマを変更したのはとてもいいと思いました。</p> <p>とてもわかり易いです。</p>	<p>進学・就職に伴う村外へ転出など一時的な流出は避けられないものの、最終的に帰ってくるができる（帰って来なくなる）ような地域づくりを目指す必要があると考え、あえて遠方から想起するニュアンスの「ふるさと」を採用し、誰もが愛着を持てる村を目指すものとしたものです。ご意見ありがとうございます。</p>	修正なし
P22 村づくりの理念	<p>確かに古臭いですね。でもまあここはこのままとしても、新しくしていきましょうという方向性は出せるのではないのでしょうか。</p>	<p>村民憲章を変更するか否かについては、ご意見として承り、今後の事務執行の参考とさせていただきますが、昭和48年に制定された清川村民憲章は村民の創意によって定められた清川村民の「あすへの生活目標」であり、長きにわたって宮ヶ瀬ダム建設などの村の存亡にかかわる大事業をたゆまぬ努力と英知を結集して乗り越えてきた先人に敬意を表し、現時点で改定する予定はありません。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	<p>これ、最新のデータではだめなのでしょうか？</p>	<p>将来目標人口を定めるうえで、年齢構成や出生数などを考慮した人口推計を行うためには2020年国勢調査の結果を用いることとなることから、ご理解いただければと存じます。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	<p>歳入の根幹は村税というのはわかりますが、比率から言うと、減少すると住民サービスが低下するというのは、妥当性に欠けませんか</p>	<p>人口の減少により村税収入が減少すれば、当然に行政サービスを削減していく必要があります。人件費を削減し職員数を減らせばマンパワー不足でサービス低下を招き、投資的経費は削減され、また、老朽化する公共施設やインフラの維持も困難となります。</p> <p>なお、村税のうち、固定資産税である国有資産等所在市町村交付金が大きな割合を占めておりますが、本交付金が年々減額するほか、人口減少は基準財政需要額の減額につながり、普通交付税なども縮小することで、村を活性化させる事業への投資ができなくなることが予想されます。</p>	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P23 将来目標人口	すでに、上下水道などは赤字ですよ。これが3000人になれば解消するとは思えませんが、何人だったらインフラ維持できるのでしょうか？	<p>公共下水道の適正運営に向けては、ストックマネジメント計画に基づき、国庫補助金、起債を投入しながら、計画的な施設管理と長寿命化事業を実施しているほか、受益者負担の考え方から使用料単価の増額改定を今後進めてまいります。</p> <p>単独市町村で公共下水道事業を実施している市町村は概ね一般会計からの繰り入れを余儀なくされており、本村も同様であります。現在の財政バランスの維持に向けて将来目標人口を設定したものといたします。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	長期の財政予測は、どうなっているのでしょうか？将来10年程度の財政予測はありますか？	<p>財政計画において、2028年度までの見通しは推計しており、現行計画における見通しの概要はP7のとおりですが、平成30年度に策定したものであり、現在並行して見直しを進めています。</p> <p>なお、本項目は将来目標人口に係る頁であり、現状の財政状況から財政計画の改定に伴う修正は想定していませんが、P7の記載内容については修正する場合があります。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	第3次計画で、移住し定着してくれた人は、どのくらいいるんでしょう？第3次計画の総括からできることも見えてくると思うのですが。	<p>第3次総合計画においては、現行の後期基本計画から移住・定住施策を強化し、KPIを設定して進行管理をしています。</p> <p>なお、令和3年度までの実績では200人に対し、54人となっています。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	人口が減ると、役場の職員数は減らされるのでしょうか？	<p>人口の減少は収入額の減少につながり、現行の職員数の人件費が確保できなければ、職員数は減らさざるを得ません。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	<p>これ以上減ると破綻する？だから増やすんだ。みたいな表現ではなく、人口維持していきながら、もっと豊かに暮らしていこう！って表現はダメですか？</p> <p>2035年には人口は2450人という見通しが出ているのですから、+500人は絵に描いた餅だと思いますし、将来人口目標の根拠がインフラ保てないからということであるなら、お先真っ暗としか思えません。</p>	<p>第4次計画における将来目標人口は、委員のご意見のとおり、人口増ではなく、維持することを目標としています。</p> <p>推計値に対しては、本村だけに特化した特有の課題でなく、我が国全体の大きな課題ではございますが、現行の行政サービスを継続し、公共施設やインフラ維持、また村内の医療機関や福祉関連事業所の運営を維持するため、国や県の取り組みとも連携を取りながら、目標の達成を目指してまいります。</p>	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P23 将来目標人口	<p>人口 3000 人を目指していると記載がありましたが、現在約 2780 人、目標まで 250 人。</p> <p>移住できる土地の確保ができる見込みなのでしょうか。</p> <p>土地利用計画策定指針で利用できるゾーンと保全すべきゾーンがあるとお伺いしましたが、2 人家族として 125 戸、5 人家族として 50 戸増やせる土地や場所の予定地みたいなもの既にあるのでしょうか？</p>	<p>将来目標人口の達成に向けては、特定地域土地利用計画において定められている利用検討ゾーンに新たな宅地を用意することによってのみ達成を目指すものではなく、既存の空き家や空き地、世帯人口増により達成を目指すものと考えており、新たに 50 戸分相当の宅地を造成する見込み等は現時点ではありません。</p>	修正なし
P23 将来目標人口	<p>将来目標人口の目標年数が約 10 年後、約 10 年後というところと現在の中学生以降の未成年の子供達が成人となって社会人になり家族を築いてる年齢とも言えます。</p> <p>新規に村外の方へ魅力をアピールするよりも今いる子供達が大人になって清川村に住み続けてくれる様に、又は 1 度は社会に出て村外に出たけれどやっぱり清川村は住みやすいよね！子育てしやすいよね！って思って貰える方がアピールのし易さはあるのではないのでしょうか。</p> <p>実際、清川村で生まれ育って家族と暮らしてる方って多いと思います。</p> <p>中学生を対象にしたワークショップもとてもいい機会だったと思います。</p> <p>住みやすさを知って貰う機会にもなるし子供の意見も聞けるし子供達も自分の意見が採用されて改善される事があれば村の事を考える大きな一歩になるのではないのでしょうか。</p> <p>中学校ではここ最近着用できる T シャツの色が白一色だったのが黒や紺も着用可能になったり、ジャージ登校が可能になったり、子供達の声から改革されてる事が増えました。</p> <p>今いる未来ある清川っ子を取り巻いて改革していくのも一つの手かなと思います。</p>	<p>本計画の策定にあたり実施した村づくりアンケート（転出者）編の結果として、村民の皆様に対し、思うように村の施策のメリット感を伝えきれていないという実態を把握することができました。</p> <p>また、ワークショップでも同様のご意見をいただいているところでもありますので、こうした良さを PR する手法については、今後の課題とさせていただきます。</p> <p>村の広聴事業は、住民懇談会や村長への手紙に加え、小学生を対象とした子ども議会などがあります。中学生ワークショップは、今回初めて実施いたしましたが、今後も継続を検討しています。こうした広聴事業の拡充については、ご意見として承り、基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。</p>	修正なし ★
P25 特定地域土地利用計画	<p>地元の人間ではないので、土地の問題は難しいです。ぜひ、専門家の意見を聞きたいと思います。</p>	<p>特定地域土地利用計画は、全域が都市計画区域外である本村が開発と保全のバランスを保ち、秩序ある土地利用を図るため、村内団体の代表者や有識者で構成される土地利用推進委員会にご意見を伺い、県と協議のうえ策定しています。</p>	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P25 特定地域土地利用計画	空き家をリノベーションして子育て世代や、若者へ貸し出す。 貸し手に対しては何かしら補助金があると魅力的。	村では人口維持対策の一環として、空き家を賃貸用住宅としてリフォームした場合の補助制度（1／2で最大50万円）を実施しています。 ご意見は基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。	修正なし
P25 特定地域土地利用計画	空き家を購入や、賃貸し農家泊、カフェ、店舗等の事業に使う起業支援金などあれば村外の方への後押しになりそう 村民の方からしても、働く場所に繋がり交流の場にもなる。	空き家の賃貸に係る補助事業について、現在、村では住宅としての利活用に限ったものとなっております。ご意見は基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。	修正なし
P25 特定地域土地利用計画	村外からお引越してこられる人や清川村を引っ越し先の候補にしてたと言う方のお話を聞くと、殆ど方が敢えて街中から離れて自然の中で暮らしたかったからと言う方が多い気がします。もしくは元々清川村で育って、村外に出たけれど清川村の魅力にまた戻って来られる方もとても多いと感じます。 自然の景観や自然からの恵みを大切にしながらより住みやすい清川村になればいいなと思いました。 しかし、同時に鳥獣被害もしっかり対策を強化して頂きたいと感じます。 畑の作物は勿論、異常気象もあってか猿を頻繁に見かけます。対策してくださっている事も以前の会議でお伺いしていますが 子供達の登下校時に出くわすとなると車の中から見かけるのと違い生身では怖いです。 幸い子供に目立った被害はありませんが共存してく上で対策強化を是非お願いしたいと思います。	ご指摘のとおり、事務局が実施した意見聴取においても、「あえて村を選んでいる」といった趣旨のご意見を頂戴しておりますので、原点回歸し、現状の自然や景観を最大限保全しつつ、村民ニーズに沿う村づくりを進めていく必要があると考えています。 そのためには、自然環境の保全し、鳥獣との住み分けなどを進める必要があります、ご意見は基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。	修正なし ★
P27 村づくりの方向性 前文	この文章の主語は何ですか？	村づくりの方向性は、基礎自治体として取組むべき施策を示したものです。 従って、文頭の「基礎自治体」すなわち村が主語となります。	修正なし
P27 村づくりの方向性 基本目標1	細部構想になると思われるが「ナラ枯れ」に対する対策をどう考えていくのか？	村の森林整備計画をふまえ、ナラ枯れの発生した危険木の処理、景観面、歴史的、文化的価値がある樹木への対策など、基本計画・実施計画において検討します。	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P27 村づくりの方向性 基本目標1	…等になっていますが、プライオリティは、このふたつですか？	原則として、第4次計画において定める村づくりの方向性にプライオリティ（優先順位）の考え方はなく、いずれも並列して重要な施策として位置付けております。 なお、本項目では、前段からも記載があるように、森林や溪流、生態系等を含む自然環境の保全と、関連性の強い土地利用、地域の環境美化、環境衛生を一体的に進めていくことを目標としています。	修正なし
P27 村づくりの方向性 基本目標1	これは目標ですか？だとしたら、どのように評価するのでしょうか？ 評価基準と評価指標は何ですか・・・	6つの基本目標は基本構想に含まれるものとなり、5年後には下に紐づく基本計画が改定となることから、この項目に具体的な評価指標は決めていません。	修正なし
P27 村づくりの方向性 基本目標1	健康的な地域とは、どんな地域なのでしょう？	本目標においては、自然環境保護、環境衛生を主たる施策としています。異常がなく元気な地域の意味合いとして「健康的」という文言を採用しましたが、ご指摘のとおりわかりにくいので次のとおり修正します。	また、これら自然が創り出す景観を守り、 <u>衛生的な地域を形成するため、環境美化や公害防止に取り組むとともに、温室効果ガスの吸収源である貴重な森林を保全するため、地球温暖化防止対策に取り組む</u> 、美しい村づくりを推進します。
P27 村づくりの方向性 基本目標1	カーボンニュートラルや地球温暖化に対しての取り組みも、文言として必要ではないでしょうか？ 策定の趣旨には、掲げられていますが・・・	環境美化・公害対策に包含されるものとして記載しておりませんが、ご指摘のとおりですので次のとおり修正いたします。	同上
P27 村づくりの方向性 基本目標1	美しいだけでなく、人と自然との共存が課題なのではないでしょうか？人がいない原生林のほうが、自然なのかもしれません。でも、人が暮らし、農業、林業もできて、楽しめて、豊かに幸せを感じられる村を目指してほしいと思います。	基本目標5に農林業の振興を位置付けており、本来であれば委員ご指摘のとおり、農林業が活発になることで、人と自然との共存が達成されるべきであると考えておりますが、近年は森林整備や農地管理の目的が自然環境、生活環境の保全に移行している現状があり、ここでは分けて考えることとさせていただきます。	修正なし ★
P27 村づくりの方向性 基本目標2	激甚化する自然災害の防災対策の具体的対策について。	具体的な防災対策については、「地域防災計画」の改定などを含め、基本計画・実施計画において検討します。	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P27 村づくりの方向性 基本目標2	<p>快適で安心で安全のために必要なものとして、情報弱者を守る視点が必要ではないでしょうか？</p> <p>いくら行政がいい仕事をして、住民にあるいは世界中に届かなければ、意味がありません。村のネット環境は、非常に遅れており、また情報発信も遅れています。正確で迅速な情報を住民に届けること、世界への発信を強めることも取り込んでいただきたいと思います。</p>	<p>村からの情報発信が課題であるという点については委員ご指摘のとおりです。</p> <p>情報施策については基本目標6に示しており、この中で対応してまいりたいと考えております。</p> <p>また、ご提案の世界への発信については、基本目標5のシティプロモーションの中で、基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。</p>	修正なし
P28 村づくりの方向性 基本目標3	<p>問題意識を持つといった他人事のような状況ではないはずです。村の中にも精神疾患などをお持ちの方はいますし、不登校のお子さん、引きこもりの方もいます。この表現は、認識が甘いと思います。</p>	<p>俯瞰的にとらえた記載となっており、ご指摘のとおり当事者意識に欠けるため、次のとおり修正します。</p>	<p>また、生活習慣や社会環境の変化に伴い、身体だけでなくこころの健康状態にも<u>配慮した適切なケアが求められています。</u></p>
P28 村づくりの方向性 基本目標3	<p>医療・生涯学習・福祉が混在していますね。当然相互に深くかかわりあっていることですので、併記されていいのですが、それぞれ住民の関心が最も高い分野ではないでしょうか。きちんとそれぞれが目標として見えてくるような書き方がほしいと思います。</p>	<p>委員の言及にもあるように、本項の趣旨は、医療・福祉・生涯学習が深く関係しており、健康寿命の延伸に向けて一体的に推進していく必要があるという方向性を示すものです。</p> <p>また、現行計画においては教育分野と連携していた生涯学習施策を健康施策と連携することとした点にも意義があると考えております。</p> <p>基本計画にはそれぞれの分野における目標が混在しないよう明記することに配慮しながらも、関連性の高い施策分野を一体的に進めていくこととする村づくりの方向性の趣旨に則ったものになります。</p>	修正なし
P28 村づくりの方向性 基本目標3	<p>「支え合い」＝「助け合い」？村民憲章に書かれていますが、支え合いができない社会になっていることが、現代の社会課題です。これに対してどう取り組むのか、一言も書かれていないことが不満です。</p> <p>また、支え合いは、この小さな村の中だけではできません。医療の部分だけでも、診療所を主治医としている人がどれだけいるのでしょうか。仕事も趣味も同様です。ここで、関係人口や交流人口を増やしていくことを取り込めないでしょうか？交流人口は、観光客だけではなくありません。村が気になる、村での活動に協力してくれる人たち、もちろん大学などの教育機関やシンクタンクなどの力を借りることが、必要だと思います。</p>	<p>近年は核家族化の進展や価値観の多様化により、委員ご指摘のとおり人と人とのつながりが弱まっています。この関係性を再構築するため、制度・分野、支え手・受け手といった関係を超えて、村民や地域の多様な主体の参画で地域社会を創造する地域共生社会の取り組みを村内でも進めています。</p> <p>基本目標についても「地域共生社会」に係る記載を追記します。</p> <p>また、大学や他団体の力を借りることは確かに必要であり、今後も継続していくこととなりますが、本目標において関係人口や交流人口、さらには観光客の誘致までに言及してしまうと目標単位の方向性がぶれてしまうので、事務執行上のご意見として承ります。</p>	<p>～適切なケアが求められています。</p> <p><u>一方で、核家族化の進展や価値観の多様化によって、人と人とのつながりの希薄化が進む中、地域の関係性の再構築する必要があることから、制度・分野、支え手・受け手といった関係を超えて、村民や地域の多様な主体の参画で地域社会を創造する地域共生社会の取り組みを進めるとともに、</u>地域医療の確保・向上や～</p>

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P28 村づくりの方向性 基本目標4	子育ては、必ずしもペアレンツでされているわけではありません。 様々な子育て環境に対して、柔軟に支えていける村であってほしいと思います。パートナーシップ協定を結んだんですね。この書き方はまずくないですか？	委員ご指摘のとおりですので、次のとおり修正します。 なお、パートナーシップ宣誓制度は、事情により入籍できないカップル、性的マイノリティの方々等が、パートナーシップ関係を宣誓することで、所謂夫婦に準じたサービスを受けられるように認める制度で、令和4年7月に厚木市、愛川町と締結した連携協定は、締結市町村間の住居異動において、これらの宣誓を引き継ぐことで転居時の手続きの負担を軽減するためのものです（令和5年7月から秦野市、伊勢原市、海老名市が加入）。	<u>社会情勢等の変化に伴い、家族を取り巻く環境の多様化、さらには物価高騰などによる経済的負担の増加により、子育てに対する不安や悩みを抱える保護者が増加しています。</u>
P28 村づくりの方向性 基本目標4	「妊娠期から子育て期～」 これはいつまでですか？法的根拠があるのですか？	本村における子育て施策においては、妊娠期は妊娠前を始期とし、出産まで、子育て期は産後から高校卒業までを想定しています。厳密な法的根拠はありませんが、児童福祉法第4条(18歳に満たない者)を基本に、拡大して捉えています。 なお、こども家庭庁が発足し、「こども未来戦略方針」が示され、若い世代が結婚・子育ての将来展望が描けるよう社会全体の構造や意識を変えることが重要であるとされていることから、次のとおり修正します。	～保護者が増加しています。 <u>若い世代が結婚・子育ての将来展望を描けるよう社会全体で子育てがしやすい地域の実現に向けて、妊娠期から子育て期まで～</u>
P28 村づくりの方向性 基本目標4	「幼稚園、小学校、中学校が密接に関わりを持つ～」 ほんとですか？はっきり特性と言える根拠は何ですか？例えば交流事業とかをたくさんやっているのですか？	第3次総合計画後期基本計画においては、幼・小・中の連携事業数をKPIに掲げ、校種間の交流機会を増やすことで、幼児期から学校教育への円滑な移行、上級生の自己有用感の育成を図っています。	修正なし
P28 村づくりの方向性 基本目標4	伝統や文化・具体的になんですか？青龍祭ですか？	青龍祭に限らず、地域で行われている祭事や学校教育において伝えられている逸話、文化財等からわかる村の歴史全般を示しています。	修正なし
P28 村づくりの方向性 基本目標4	小規模校から、近いうちに極小規模校になる可能性のある村なのに、楽観的過ぎるのではないのでしょうか？村の中だけで子供を育てる限界がもうそこまで来ています。ここでも、村の外に向けての視点が必要だと思います。	極小規模校になる可能性についてはご指摘のとおりですが、学校教育は村の責務であり、学校・家庭・地域の連携により成り立つものであると考えておりますので、教育の基盤を村外とすることは想定していません。 なお、教育課程において、村外から協力を得ることについては、基本計画や実施計画において検討してまいります。	修正なし

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

P28 村づくりの方向性 基本目標4	小規模校の「メリット」と教育大綱でも掲げていますが、子どもファーストで考えると、デメリットのほうが多いように思えます。もう少し危機感が必要なのではないのでしょうか？	児童・生徒数が少ないことで、クラス替えがないことによる人間関係の固定化や男女比の偏り、子どもたち同士の切磋琢磨が活性化しないなどの課題が挙げられますが、学年を超えた縦割り活動やコミュニティ・スクールを設置し、学校と地域が一体となった取り組みを進めることで課題の解決を図っています。	修正なし
P29 村づくりの方向性 基本目標5	産業の振興と、人口維持対策は、並列ではなく、産業振興→人口対策の成果につながる。という流れではないでしょうか。産業振興は重要ですが、人口増加を目的としたものではなく、豊かな地域にしていくことで、今住む人たちが豊かに暮らしていけるようになり、結果として、例えば子供世代が戻ってきたり移住者が来たりするのではないかと考えます。	委員のご意見のとおり、関連性のある施策分野を一体的に実施していく方向性を基本目標では示しています。 産業振興により地域の活力を高め、賑わいを創出することが最終的に地域の魅力向上につながり、移住者の獲得にもつながるという考えを表記した目標です。	修正なし
P29 村づくりの方向性 基本目標5	青龍祭には、村を出た子供世代が、あそびに来てましたよね。たとえ住んでいなくても、つながりのある人と賑わいを作り出す視点も大切だと思います。地方の伝統的なお祭りも、地域の居住者だけでは運営できず、関係人口に支えられているところが少なくないと思います。	委員のご意見のとおりであり、交流人口・関係人口の増加に向けた取り組みを継続してまいります。	修正なし
P29 村づくりの方向性 基本目標5	村外の家族向けに村でイベントをする ・川で魚釣り体験 ・フリーマーケット ・宮ヶ瀬ダムでスタンプラリー 観光に来た若者に向けては SNS 投稿で割引などすればバズらせてくれそう	村の広報では、現在主流となっていますソーシャルネットワーキングサービス（SNS）による情報発信力が非常に弱く、対外的な魅力発信に課題があります。 委員のご提言のとおり、学生などの民間の方々との共同事業などの検討も含め、基本計画、実施計画及び事業執行上の参考とさせていただきます。	修正なし
P29 村づくりの方向性 基本目標6	ぜひ、具体的な施策につなげていきたいと思いますし、評価が必要だと思います。村内外の人材確保と育成を進めていきたいですね。村民の中にある「役場が何でもやってくれる」的な感覚は、意識的に払しょくする必要があると思います。行政と住民が協働するためには、きちんとした職務の切り分けが必要です。そのうえで、住民の自由でクリエイティブな活動をぜひ側面からきちんと支えるスタンスを行政には示していただきたいと思います。	村民ニーズの多様化、公共サービスの領域拡大により村行政の単独による行政運営の方法は限界を迎えております。 委員ご意見のとおり、村民に地域の課題を見つけていただき、村民の持つ潜在力にも依拠する協働の村づくりが必要があり、そのために必要な取り組みを今後も進めてまいります。	修正なし ★

第4次清川村総合計画基本構想（素案）に対する意見整理表

<p>P29 村づくりの方向性 基本目標5</p>	<p>計画策定計画の進行プログラムの中に、地域活性化について研究や実践、実績のある専門家からのレクチャーを受けることはできないでしょうか。審議委員の皆さんも（一見したところで申し訳ありませんが）専門家ではなく、地域で活躍していらっしゃる方々とお見受けします。担当課の皆さんからの説明について、疑問点や意見をアウトプットしようとしても、そういう市民にとって、意見を持つためには、もう少し、第三者のレクチャーが必要なのだと思います。</p> <p>私自身、音楽療法を通して日々の仕事をしていくだけではなく、コミュニティ音楽療法の実践者として、多少の知識と経験は持ち合わせているものですが、もっと地域の発展について研究されている方のご意見を聞きたいと思います。</p> <p>幸い松陰大学には、地域活性化について、特に地方の小さな村を活性化するフィールドワークを続けて実績を上げている教授がいます。一度ご紹介したいのですがいかがでしょうか？</p>	<p>本計画は今後の村政運営の根幹となる計画であり、村民である皆様の生活に大きく関係のある計画ですので、条例に基づき外部有識者を入れずにご審議をいただいているところです。</p> <p>外部からの有識者は専門性の高い識見を有する一方、本村特有の課題や地域特性までを熟知しているとは限らず、委員としてご参画いただいている皆様は、現に行政委員として村政に深く関わっていただいている皆様であり、各分野における専門的なご助言をいただけるものの考えております。</p> <p>なお、個別計画や戦略等の評価・検証においては大学教授や金融機関等の方々を委員として加え、進行管理を行っている会議体もあります。</p> <p>個別具体的な事業について定める各個別計画の進行管理においては、外部有識者の参画は必要であると考えますが、全体の施策の方向性を定める総合計画の策定プロセスにおいては、今回は見送らせていただきます。</p>	<p>修正なし</p>
-----------------------------------	---	---	-------------